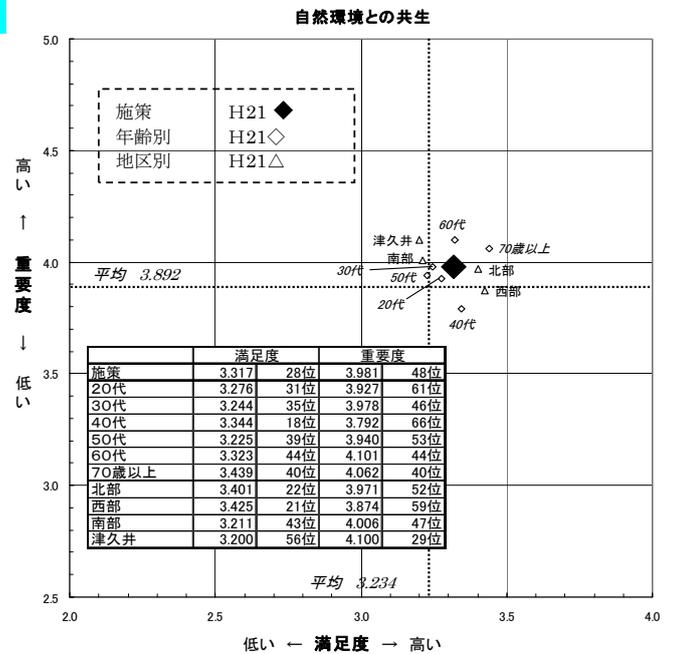


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.317で全119施策の中で28番目。
- 重要度は3.981で48番目である。
- 改善要望度は0.004で64番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

| 視点の種類 | 評価基準・着眼点 | 評価点 | H20評価点 | 前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由 |
|-------|--|-------|--------|---|
| 有効性 | 各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している | 4(2)1 | 4(2)1 | |
| 効率性 | 最小の経費で最大限の効果をえられるよう、効率的に事業を実施している | ④21 | | |
| 市民満足度 | 市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している | ④21 | ④21 | |
| 合計 | | 10 | | 評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下) |
| | | | | 1次評価 A |

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

| | |
|-----|---|
| 課題 | 自然環境との共生を実現するためには、散策路整備を通じて、緑地内における踏み荒らしを制限し、踏圧による林床の裸地化の拡大を防止するとともに、市民に自然を理解していただく必要がある。 |
| 解決策 | 地域住民やNPO、土地所有者との協働による散策路整備を進めることにより、市民に対して散策路整備の必要性を理解していただけるよう努める。 |

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

| | |
|---|-----------|
| 散策路の整備の成果を測定できる指標の設定を検討すること。 ⇒ 成果の指標としては植生調査が考え、散策路整備前・後の経年変化について、毎年度の植生の回復面積の数値化は困難であるため、本指標を用いた。 | 2次評価 A |
|---|-----------|

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

| | |
|--|-----------|
| | 3次評価 A |
|--|-----------|

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向